

# 父母連ニュース

草加市保育園父母会連合会 機関紙  
2006年度 第号/2007年2月10日発行  
発行責任者：阿部927-2356・伊藤928-6960

表 面：「さかえ・あずま保育園の園舎建て替え」「第2きたうら保育園の存続」に関する要望書提出について  
父母連・保育部会共催学習会「どうなる？どうする？保育情勢を学ぼう」の報告  
裏 面：「さかえ・あずま保育園の園舎建て替え」「第2きたうら保育園の存続」に関する父母連からの要望書  
19年度の父母連のあり方について

## 「さかえ・あずま保育園の園舎建て替え」 「第2きたうら保育園の存続」に関する要望書提出について

2/1(木)午後19時に、さかえ保育園父母会会長武藤さん・副会長富田さん、あずま保育園父母会会長拝田さん、第2きたうら保育園父母会会長甲賀さん、父母連会長 阿部・副会長金谷の計6名が、「さかえ・あずま保育園の園舎建て替え」「第2きたうら保育園の存続」に関する要望書を、市長及び保育課に提出してまいりました。  
各要望書は、11月23日に行われました市長懇談会の内容を受けて、さかえ・あずま・第2きたうら保育園父母会がそれぞれに話し合いを持ち、父母会としての意見をまとめたものです。それに、父母連からも将来を見通した園舎建て替えや産休明け保育・0歳児保育等に関する内容をまとめた要望書を加えて、4部提出しました。要望内容は多岐に渡りますので、大まかな内容のみの報告にとどめさせていただきます。

なお4部の要望書は、2月10日の代表者会を通して各園の掲示板もしくは父母連ホームページに掲載する予定でありますので、是非ご覧ください。

- \*市長との懇談会は、今のところ3月末頃に役員レベルで行われる予定です。
- \*ご意見・ご感想などございましたら、是非父母連ホームページまでお寄せください。

### ■さかえ保育園父母会「市長懇談会を拝聴しての要望および質問事項」



\*6ページにわたる要望書から、項目に沿った要約のみを以下に記載

- ①アンケートの集計結果について(公立園における0歳児保育廃止反対・180人定員反対90%以上)
- ②さかえ保育園の大規模園化について(保育の質を保てる適正規模の定員設定を！)
- ③大規模園化についての質問事項(検討状況・現場職員の意見の吸い上げ・危機管理や防犯・1クラスの人数等に関する質問)
- ④0歳児保育について(公立園での0歳児保育・家庭保育室での0歳児保育どちらも大切)
- ⑤0歳児保育廃止について(家庭保育室の整備・拡充が進んでいない状況下での0歳児クラス廃止反対)
- ⑥0歳児保育廃止についての質問事項(家庭保育室における緊急時の職員補充やアレルギー食・看護師の配置等に関する質問)
- ⑦新さかえ保育園園舎に関して望むことや質問事項  
(きたうら保の反省を生かし現場の声を取り入れて下さい・防犯や雨の日対策・園庭など)

### ■あずま保育園父母会「あずま保育園建て替えに関する要望書」



\*主に実施設計にかかわる29の要望項目から項目に沿った要約のみを以下に記載

- ①園舎に関して(防音・自然塗料・フローリング・エアコン扇風機・ロッカー・押入れ・父母会掲示板など)
- ②敷地内に関して(門の安全性と利便性・駐車場・駐輪場・雨の日対策など)
- ③保育園施策に関して(公立園継続・看護師設置・延長保育実施・完全給食実施)
- ④複合施設に関して(敷地内における高砂小通学路と保育園送迎路の安全確保・防犯のための巡回パトロール)

### ■第2きたうら保育園父母会「第2きたうら保育園の存続に関する要望書」



- ①最終年度まで、最低でも3, 4, 5歳児クラス(異年齢児保育)で存続し1学年の園とならないようにして下さい。
- ②移園に関しては、多くの子どもが希望園に移れるよう、募集の時から平成22年3月で閉園し、在園児は移園することが決まっていることを告げ、できるだけ広い地域からの受入れをして下さい

裏面に「さかえ・あずま保育園の園舎建て替え」「第2きたうら保育園の存続」に関する父母連からの要望書の全文を掲載

埼玉県知事さんから県の埼玉県次世代育成支援行動計画策定協議会の副会長をまかされている

浅井春夫さんをお招きして、

父母連・保育部会共催学習会「どうなる？どうする？保育情勢を学ぼう」

を1月27日に草加市文化会館でおこないました。

この日はおたのしみ会の園が多かったのに、家庭保育室連絡会、保育士、保育園保護者、学童保育保護者など80人が参加。草加市の家庭保育室の役割や、保育園待機児童、認可外保育施設での赤ちゃん死亡事故、草加の公立保育園の実践の高さなど、草加の子育て状況をよく知っている浅井さんは、「背景には国の政策の問題が大きい。だからこそ市レベルでは市民や保護者が提案していこう。『行政に何でももとめる運動』では良いものがない。』と強調されました。

「子どものことに『カネがない』を理由にさせてはいけません」  
「企業委託の保育園は職員が一年で半分以上退職。  
企業保育園は子どもも保育者も悲惨。  
保育は国と草加市の公(おおやけ)のしごと!!」